

## 2015年3月実績概要（メモ）

（2015. 4. 16）

### 1. 生産動向

イ) エチレン 588,700トン

前月比                   + 4.2% (+ 23,600トン)  
前年同月比               + 15.2% (+ 77,800トン)

生産増減に係る諸要因	＜前月比＞	＜前年同月比＞
日数増減	+ 10.7%	-
定修要因等	▲ 2.1%	+ 19.9%
能力増減	-	▲ 5.5%
稼働率変動	▲ 4.4%	+ 0.8%
生産増減率	+ 4.2%	+ 15.2%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月94.6%→当月90.9%←前年同月90.3%

定修プラント：前月なし→当月なし←前年同月3社3プラント

平成26年度(会計年度)エチレン生産量 6,688.6千トン 前年度比▲1.1%

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、主に日数の増加や稼働率要因から PP、PS、SM、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、EO、EG、ベンゼン、トルエン、キシレンなどの12品目がプラスとなった。LD、SBR、BRなどの5品目は定修規模差等からマイナスとなった。

前年比では、稼働率要因、定修規模差等から HD、PS、SM、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、EO、EG、トルエンなどの11品目がプラス。LD、MMAモノマー、SBRの6品目はマイナスとなった。

### 2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では、主に日数の増加から HD、PP、PS でプラス。LD は春の定修入りに伴う定修規模の増加からマイナスとなった。

前年比では、定修規模差や稼働率要因から HD、PP、PS はプラス。LD は稼働率要因等からマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比では、主に営業日数の増加から主要な出荷分野での出荷が増加し4樹脂揃ってプラスとなった。

前年比では、前年の出荷が増税前の需要増加の影響から3月としては高めであった。このため HD、PP では射出成形分野、PS は包装分野の出荷を中心に前年を下回ることとなりマイナスとなった。

ハ) 輸出

アジア域内では需要面では大きな変化はみられていないが、取引自体は増え始める傾向にあり、前月比で LD、PP、PS でプラス、前年比では HD、PP、PS でプラスとなった。

ニ) 在庫

在庫量は、LD、HD、PP の3樹脂で減少し、PS は増加した。在庫率(季節調整済)では LD、HD、PP、PS とも前月に対して上昇した。在庫水準としては4樹脂ともやや高めとなっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		2月末	3月末
LD	▲ 30,400	3.3	3.4
HD	▲           0	2.4	2.8
PP	▲ 10,400	2.7	3.0
PS	+ 6,700	1.4	1.8